

諸家系譜

位
は
蜂
屋

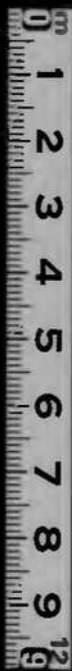
太政官文庫			
三三五	三二四九	和	書門
冊	架	函	號類

内閣文庫			
五二四一四	三三三九	和	書
架	冊	函	號類

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (43)
函號	156 23

共二百廿五白

共八十五



は
吉
原
原

先祖書

未
去
月
晦
日

原
原
氏
五
百
拾
五
年
前

原
原
氏

先列書

清和源氏

蜂屋

日敏 敏 敏
幕政 孫政 孫政

源氏... 後位... 下... 先... 定... 男...
... 定... 孫... 孫... 孫...
... 定... 孫... 孫... 孫...

一 功代

王國

... 定... 孫... 孫... 孫...

母

古... 打... 功... 定... 孫... 孫... 孫...
... 定... 孫... 孫... 孫...

定出左平の事... 其妻... 其致... 其致... 其致...

一 定出左平

其妻

其致... 其致... 其致...

定出左平

其妻

定出左平

其妻

其致... 其致... 其致...

定出左平

其妻

其致... 其致... 其致...

定出左平

其妻

其致... 其致... 其致...

二 定出左平

其妻

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

其致... 其致... 其致...

增上女... 神々... 正徳甲午年...

号... 氏...

定... 号...

日... 增...

有... 号...

月... 号...

日... 号...

定... 号...

崇... 号...

日... 号...

日... 号...

日... 号...

号...

定... 号...

号... 号...

定... 号...

日... 号...

日... 号...

日... 号...

日... 号...

有佳子... 九年九月... 古... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

有佳子... 九年... 山... 山... 山...

出女 養正院之左
出女 養正院之右
出女 養正院之左
出女 養正院之右

有任正院之官係大正六年六月乃迎又定高列正院係德川
德川元甲子年二月日里之為那也此後如未終之別
日三月日之德川元甲子年六月乃迎又定高列正院係德川
日三月日之德川元甲子年六月乃迎又定高列正院係德川
日三月日之德川元甲子年六月乃迎又定高列正院係德川
日三月日之德川元甲子年六月乃迎又定高列正院係德川

定取書子
定取書子
定取書子
定取書子

出女 養正院之左
出女 養正院之右
出女 養正院之左
出女 養正院之右

有任正院之官係大正六年六月乃迎又定高列正院係德川
德川元甲子年二月日里之為那也此後如未終之別
日三月日之德川元甲子年六月乃迎又定高列正院係德川
日三月日之德川元甲子年六月乃迎又定高列正院係德川
日三月日之德川元甲子年六月乃迎又定高列正院係德川

寛文二己未二月廿二日... 寛文二己未二月廿二日... 寛文二己未二月廿二日...

同月廿二日... 同月廿二日... 同月廿二日...

同月廿二日... 同月廿二日... 同月廿二日...

同月廿二日... 同月廿二日... 同月廿二日...

同月廿二日... 同月廿二日... 同月廿二日...

定救書... 寛文二己未二月廿二日... 寛文二己未二月廿二日...

田舎子... 寛文二己未二月廿二日... 寛文二己未二月廿二日...

六代目 高橋重之助

出母 藤子... 出母 藤子... 出母 藤子...

出母 山子... 出母 山子... 出母 山子...

寛文二己未二月廿二日... 寛文二己未二月廿二日... 寛文二己未二月廿二日...

同年十月二十日... 出雲守... 日十月...

日十月... 出雲守... 日十月...

日十月... 出雲守... 日十月...

日十月... 出雲守... 日十月...

日十月... 出雲守... 日十月...

日十月... 出雲守... 日十月...

天明元... 日十月... 出雲守...

天明元... 日十月... 出雲守...

天明元... 日十月... 出雲守...

天明元... 日十月... 出雲守...

天明元... 日十月... 出雲守...

天明元... 日十月... 出雲守...

天明元... 日十月... 出雲守...

天明元... 日十月... 出雲守...

上地 千石 以後 一統 之 運 少 古 尚 存 夜 亦 所
在 之 處 亦 有 之 也

日七 去年 八月 三日 所 傳 亦 有 之 也

日十 去年 七月 十日 所 傳 亦 有 之 也

日廿七 去年 五月 廿七日 所 傳 亦 有 之 也

日廿七 去年 七月 廿七日 所 傳 亦 有 之 也

日廿九

定 廿九 去年 九月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

日 廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

日 廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

日 廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

日 廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

日 廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

日 廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

日 廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

右 之 處 亦 有 之 也

定 廿九 去年 八月 廿九日 所 傳 亦 有 之 也

付

系譜

河内
藤原信実

特厚氏

其心
土流

希故指授

留以存向水下云字
土流中希水云一
是言以之云云

信和厚氏信光祝

光信

土流中

信光上

光信書中之系裔

光信

土流中

信光下

光宣三男
定之親

增心原吉平

増心原吉平は是より氏増原吉

定親七代吉平
定之房

増心原吉平 後吉原氏

土佐系吉原氏は其の祖は吉原氏に
源氏の後裔吉原下上

定彦

増心吉原氏

後吉原氏

定彦

定通

増心原氏 後吉原氏

中書省の定彦より、水原吉原氏、吉原氏の人
源七郎 吉原吉平

定彦

増心吉原氏

中書省の定彦より、水原吉原氏、吉原氏の人
女子

乙卯吉原氏 吉原氏

中書

宣預

增尾七三

清見子少八

宣改

增尾七三

宣改

增尾七三 早也

宣預

增尾七三

宣家良打年古舞光殿任八中取光下
依通詳

宣改

增尾七三

清見子少八

宣子

增尾七三

清見子少八

西真

皆在厚信

杉年、誠申也、亦、信、高、氣、守、令

法柄

法柄、此、神、宗、代、宣、文、二、折、年、一

法日之比

日十、時、年、法、書、此、書、人、心、切、宗、若、法、有、
之、保、九、子、年、法、此、所、以、法、日、之、折、年、
乃、後、日、也

日十、時、年、法、書、此、書、人、心、切、宗、若、法、有、

之、保、九、子、年、法、此、所、以、法、日、之、折、年、

宣、文、二、折、年、一、
皆、在、厚、信

中
七
月
廿
五
日
申
時
刻
印
行

先
經
書

此
書
係
由
○
場
子
著

是
以
增
刊
校
更

貞享元年 卯
地中 佐々木 孝
林 忠 虎
海 兵 衛

信之者 少之

一 一 夜月 少之

增 年 子 孝 信 治 初

信 治 公 宣 文 三 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

日 午 戌 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

文 保 九 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

後 治 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

日 午 戌 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

卯 卯 卯

宣 文 三 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

享 保 九 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

照 君 況

信 治 孝

少 之

一 一 夜月 少之

增 年 子 孝 信 治 初

文 治 公 宣 文 三 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

日 午 戌 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

宣 文 三 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

照 君 況

享保九年三月日之 病丸 年之 日暮
皇相況

江左書少書在御前中書院侍從書目

一 家内 出立
母 尾川氏女
江左無爪
贈在子多隆之

有任公代又病丸平年 没又病中丸 弟松部中少
多事及享保九年四月日之 病丸
同年六月十日 没又病丸 弟松部中少
一 少書在御前中書院侍從書目

同十三年七月日之 病丸 年之 日暮
秋原氏

一 女内 出立
母 小女
江左無爪
贈在子多隆之

元 二 二 三月日之 病丸 弟松部中少
年号月日之 病丸 弟松部中少
母 弟松部中少

享保八年三月十日之 病丸 弟松部中少
見利氏

佐の香

川西爪

日女子

平重光の遺言に在りては、其の利益は、其の
全に其の子弟に遺すべしと云ふ事

一

信長

兼代

日女子

ちんちん

日女子

日女子

日女子の遺言に在りては、其の利益は、其の
全に其の子弟に遺すべしと云ふ事

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

日女子の遺言

母 赤女

信長

兼代

兼代

あまのこ、五平七月十日、其の利益は、其の
全に其の子弟に遺すべしと云ふ事
其の利益は、其の全に其の子弟に遺すべしと云ふ事
其の利益は、其の全に其の子弟に遺すべしと云ふ事

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一 王の七年八月廿七日、その子の可成を立す。是
日の御成す。其年十月、其子可成を立す。其年十月、
其子可成を立す。

一 王の八年八月廿七日、その子の可成を立す。是
日の御成す。其年十月、其子可成を立す。其年十月、
其子可成を立す。

同日、其子の可成を立す。其年十月、其子可成を立す。
其年十月、其子可成を立す。

同日、其子の可成を立す。其年十月、其子可成を立す。
其年十月、其子可成を立す。

同日、其子の可成を立す。其年十月、其子可成を立す。
其年十月、其子可成を立す。

同日、其子の可成を立す。其年十月、其子可成を立す。
其年十月、其子可成を立す。

同日、其子の可成を立す。其年十月、其子可成を立す。
其年十月、其子可成を立す。

同日、其子の可成を立す。其年十月、其子可成を立す。
其年十月、其子可成を立す。

同日、其子の可成を立す。其年十月、其子可成を立す。
其年十月、其子可成を立す。

日十年年四月方方九

一〇

王明二皇子二月九日薨御子の事及之
御子の事及之

一〇

宣旨の事及之二月九日薨御子の事及之
御子の事及之

一〇

宣旨の事及之七月八日薨御子の事及之
御子の事及之

一〇

増尾隆之助

宣旨の事及之七月八日薨御子の事及之
御子の事及之

七月八日薨御子の事及之

は

源 共三

系 信

信 源 氏
源 氏 家 系 圖

源 氏 家 系 圖

源 氏 家 系 圖

源 氏 家 系 圖
源 氏 家 系 圖

清和原氏

蜂屋氏

立孫王臣其子編孫孫打光唐胤近以年
立孫王臣其子編孫孫打光唐胤近以年
好時凡中直以直徑一市商增也
次命善氣始了回好也今以善氣也
仁德純修氏也

家紋
替紋
善紋

替紋
替紋
替紋

源朝光嫡子善房之子源朝光嫡子善房之子源朝光嫡子善房之子

貞經

号增心

貞經三男

光經

滿房

号兵庫頭

康光

後改善光

号蜂屋新藏人

土岐大膳大夫康政為其長子

善賴

蜂屋新九郎後号兵庫頭

母揖斐少御守賴雄之女

應永三年春召見於時奉侍將軍之命赴於皇列

大有軍四

善康

号蜂屋連江守

母紀原宮内志氏之女

應仁二年合戰時從將軍有功

善兼

增心九年 後号兵庫少

母家也房

字每 五七

十 九多山多喜南女

後書 古書家以持世書
古書家以持世書

皇國而之孝文九年以平云其體字平以本
除中平多喜南女子也

元祿七年十二月日之刻也其書其地
日中平年十二了之元祿體字其地

行古書其地以之
富永元中平十二月十二西九柱其書其地

古書其地

日六七年十月十日持世書其地
作日一月古書其地入并其地其地其地

其地其地
其地其地十二月其地其地其地其地
其地其地其地其地其地其地

梅園

古書其地其地
古書其地其地其地其地

其地其地其地其地其地其地

母 一

廿

善信
孫子善有女
母 有之

廿

善信
孫子善有女
母 有之

孝子

善信
孫子善有女
母 有之

善信
孫子善有女
母 有之

善信
孫子善有女
母 有之

善信
孫子善有女
母 有之

善信

孫子

善信
孫子善有女
母 有之

善信

善信
孫子善有女
母 有之

某

善信
孫子善有女
母 有之

某

善信
孫子善有女
母 有之

江戸の... 文... 年... 終... 大... 終... 年...

... 大... 終... 年... 終... 年...

丹波... 終... 年...

日... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年...

元... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年...

日... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年...

延... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年...

日... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年...

日... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年... 終... 年...

定... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年... 終... 年...

日... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年...

日... 終... 年... 終... 年...

... 終... 年... 終... 年...

母

同二百年二月廿九日
在助之御事
之御事
之御事
之御事

同二百年二月廿九日

同二百年二月廿九日

同二百年二月廿九日

同二百年二月廿九日

恩量軒託奉撰為成喜

女

行成軒大御事
上御事二年資定書

母 忠女

幼名也 後多照

江利軒御事

母

母 忠女

忠女 御事

忠女 御事

忠女 御事

忠女

西定

西定 西定 西定 又西定

卷一

西定 西定

西定

西定 西定

西定

西定 西定 西定 西定

西定 西定 西定 西定

西定 西定 西定 西定

西定 西定 西定 西定

西定 西定 西定 西定

古くは伊予守

其

母

伊予守伊予守
平定守伊予守

早世

室母

伊予守伊予守
早世伊予守

室父

伊予守伊予守
早世伊予守

妻

伊予守伊予守
早世伊予守

高千穂

伊予守伊予守

伊予守伊予守
早世伊予守

寛文十年

新九郎守
早世伊予守

系圖寫

御目

蜂屋源八郎

蜂屋氏系圖

源姓

家幕紋

桔枝
鷹羽
蛇目

人皇五十六代

清和天皇

母后從一位攝政太政大臣藤原良房公女
文德天皇第四皇子

嘉祿元年己巳年三月二十日降誕

元慶四年十一月四日崩於圓覺寺壽三十二歲陵

于水尾山号

水尾帝

貞純親王

母神祇伯棟貞女

上慈常陸之大守 号桃園親王

延喜十六年五月七日薨春秋四十三歲

大宰大貳 正四位上 左馬頭

經基王

母右大臣源能右公女

号大孫王 賜源姓 鎮守府將軍

武藏筑前信濃 但馬 伊豫等之大守

天德五年十一月二十五日薨春秋八拾五歲

滿仲

母橘敏古女或武藏守藤敦首女

延喜十一年四月十日誕生 寬和二年八月五日出家

号滿慶 長德三年薨八十九歲住攝津國多田郡

故号多田氏建立多田院

賴光

中宮進 左近衛尉 兵部丞 内藏頭

左馬頭 春宮亮 正四位下

母道江守源俊友朝臣女
内昇殿歌人長武略神道權化人也大内守護極貴
名將 上総 上野 尾張 備前 但馬 讃岐
伯耆 淡路 摂津 伊豆 信濃 下野 伊豫
美濃等之守
治安元年七月二十四日卒

頼国

内藏人 左五衛尉 九衛門尉
左馬權頭 内藏頭 正四位下
母伊豫守藤原元平女
美濃 参河 備前 摂津 但馬 伯耆 讃岐 紀伊等守

國房

美濃守 治部丞 正四位下
信濃 伊豆 土佐等守

光國

出羽守 左衛門尉 從五位上
本名師時
母木工大夫正中女
久安三年十二月十二日卒八十五歳

光信

号王岐出羽守 左衛門尉 伯耆守

母左衛門尉家實女
大治五年配流土佐國被召返之後昇進号左判官
鳥羽院四天王其一也保安元年十月十日卒年四歲

光基 伊豆守藏人 左衛門尉

母藤原佐實女
保元乱侯内裏

光衡 号左衛門藏人 美濃守從五位

母宣能女号白川乃
實义光長光基為子

住美濃國子孫各為當國住人敏繁昌相統

光行 出羽守 左衛門尉 土岐判官代

後鳥羽院當

實朝大將拜賀之時隨其号淺野判官
建保四年任左衛門權尉先年追討池田新次郎實實是

光宗 土岐五郎 隱岐守 從五位下

母千兼介
依賴進千惠堂讚岐十郎住隱守

定親

隱岐孫太郎

蜂屋原之祖

母平貞時女

貞經

土岐藏人

兵衛尉

号蜂屋近江守

師親

原彦四郎

貞秀

蜂屋近江守

其

久尾四郎

光經

満房

頼貞

隱岐孫四郎

安房守

康光

新藏人

康改為春子法名澄祐

貞房

金山

善忠養子

頼貞

隱岐孫次郎

土岐惣領

母平貞時女
歌人弓馬上手 出家存孝
曆應二年二月廿三日卒号定林寺

賴清

土岐大郎

法名善孝号瑞岩寺
被召自伊予國赴祀暑日馳参途中而感病疾於攝列
芥川六月一日卒

賴康

大膳大夫 刑部少輔 藏人 左近將監 昇殿

母賴遠女
領美濃尾張伊豫守護職
正文三年九月出家法名善忠
喜慶元年十二月廿五日於瑞岩寺七十歲卒号建德寺

康行

大膳大夫 刑部大夫
本名義行

実父賴雄 法名善吉道号咲岩号法嘉院

康政

孫兵部 左馬助 大膳大夫

瑞世安領伊勢守護職
法名善昌道号文山号勝善院

持頼

土岐刑部少輔

依背于將軍命永享三年五月十六日於大和國被誅畢
法名龍岩寺春岩

康元

蜂屋新藏人

後改善元

土岐大膳又康元之子依將軍命被誅依以蜂屋兵庫頭
滿房子康元為子繼承家督

善頼

蜂屋新九郎

兵庫頭

母揖斐出羽守頼雄女
應永六年大内退治之時奉將軍命赴於京列大軍頭

政行

土岐刑部大輔

為土岐惣領

母同上

善康

蜂屋遠江守

母杞田瀨宮内直氏女
應仁二年合戰之時從將軍有功

女

池田美濃守政房妻

善魚

蜂屋九郎

兵庫助

世系女房

文明元年五月加細川勝元陣

善仙

蜂屋遠江守

母田村四郎右衛門重氏女

属千住兼大將軍源義澄公同義晴公

善清

蜂屋次郎

女

井上牛左衛門妻

善政

蜂屋兵庫助

母細野左近某女

仕于征夷大將軍源義輝公同義昭公

永祿七年六月三日平法名道喜

義頼

蜂屋遠江守

仕于義昭之後仕于織田信長公
天正十年六月一日於京都本能寺子明智光秀之兵刀
戰討死四拾一歳法名宗下

善範

蜂屋兵部左衛門

仕于駿遠兵太守今川義元
永祿三年庚申今川義元率大軍出張丁尾列而致
擊於織田信長公陣于桶狭間信長公聞之潛率者
餘騎乘夜襲于桶狭間陣義元於此討死後之善範

空歸于駿列義元長子仕于今川氏貞

善成

蜂屋九郎左衛門

奉仕

東照宮為奥重支配役

元和二年七月八日卒法名知英言竟本

善遠

蜂屋九郎左衛門

秀忠公

家光公奉仕一代美御代富組寛永十一年八月廿九日

卒法名輔相清全

善次

蜂屋長吉

寛永十三丙子年正月十一日拾二歳而卒家断絶矣

善休

蜂屋小平次

仕丁甲府宰相綱重公

元禄十寅年正月廿五日卒法名陽春院可休六十
九歳

は

分京右京

吉四二

辰清和

系譜

三丁

海通平十平

辰清氏

お百二歳九歳 堀内

山崎氏海通平十平

蜂屋平之丞

清和源氏

蜂屋

攝津守源賴光嫡男春實大進賴國之出左岐
隱岐守光定三男孫春平定親其孫源國輝
領中納言源賴朝之孫源國光之孫源國光
後又故歷代如詳

幕之故

鯉首承字

右鯉首字源平蜂屋事之魚目原也
於源氏源氏之別為屋字了鏡之子孫源氏
源氏之宗源氏之宗源氏之宗源氏之宗
源氏之宗源氏之宗源氏之宗源氏之宗
源氏之宗源氏之宗源氏之宗源氏之宗
源氏之宗源氏之宗源氏之宗源氏之宗

某

後亦如之... 始馬如原... 始馬如原... 始馬如原...

孝母

大為保... 志佳女

妻

始馬如原... 始馬如原...

水... 孝母... 妻... 始馬如原... 始馬如原...

坂本市の... 切取... 延慶八年... 自... 延慶八年八月... 同日... 日... 延慶八年八月... 延慶八年八月...

母可美男

少...

廿

母可美男... 延慶八年八月...

可安

母可美男

延慶八年八月...

母可美男

延慶八年八月...

延慶八年八月...

可能

母可美男

延慶八年八月...

女

母

可美

可美

女

母

可美

可美

可能

可美

可美

可美

可美

可美

寛文四年八月廿八日
延宝九年八月廿八日
同日
天和三年九月廿八日
元禄四年七月廿八日
享和元年十月廿八日
同日
同日

日寄
好佳後 宗全日意

可明 增屋正家 切名後中子 乙卯年

母

和文
増屋正家 乙卯年
宗全日意

又可成部心後 宗全日意
宗全日意
乙卯年七月七日 宗全日意

可敬

宗全日意

宗全日意

増屋正家 乙卯年
宗全日意

宗全日意
乙卯年七月七日 宗全日意

享保二五年正月廿七日
 七下引被七段年奉子子子
 宜保之三年十月廿七日
 多病而來しりし事
 可多之九月十日
 延享三年八月廿七日
 廿六日
 法公 鏡智院上光一圖

可利

増心寺

実又
 幸毎

増心寺 也可定奉徳又
 幸毎

元二三年十月廿七日
 大可利後
 願居
 病
 生
 了
 再
 了

右通達

高七百餘石 未嘗
高七百餘石 未嘗
高七百餘石 未嘗

皇及上元 壬午十月

持屋事之通
山

壬午二月
少事王德

少事王德
少事王德

系信

合系十
は
高七
友

少事王德
少事王德
少事王德

源氏

蛸屋

一修院行字

源三位行成金大内卿守仲殿十五甲辰胤吉行成
奉

善致

核致

亦致

日

聖致

壬午

壽元元年之記

女子

板倉宗清の御孫

女子

比叟の御孫

貞延

原妙

母書 貞延

印書下直化

國公の御孫

慶長七年の御孫

名刺等と書 地保

政好

年月迄

大藏少輔利永の御孫 貞延の御孫

寛文六年六月廿七日

比叟の御孫 貞延の御孫

政好

貞延

母書

妻

三浦氏 氏子 氏女

慶長七年三月之朔日 貞延病危 以遺言
申請 以三浦氏子 氏女 氏子 氏女

貞延之病危 以遺言 申請 以三浦氏子 氏女 氏子 氏女

延享七年十月廿九日 貞延病危 以遺言
申請 以三浦氏子 氏女 氏子 氏女

貞延

母

三浦氏

妻

三浦氏 氏子 氏女

貞延

西保之元年二月十八日 貞延病危 以遺言
申請 以三浦氏子 氏女 氏子 氏女

貞延之病危 以遺言 申請 以三浦氏子 氏女 氏子 氏女

貞

母

三浦氏

海之

臣等年七十有八

忠母 世居母

室母 三子母

毒 幼之室母各其女

自孝子室母十月十日去又四月 小室母海
井他乞入

同小室母六月十日去室母福子乞入

小室母乞入同日乞入一子也

天保六年申年二月十日 死日每 臣等

海之

氏記 年七十

忠母 幼之母

室母 忠女

毒 幼之室母各其女
臣等年七十有八

忠母又海之室母各其女
同日乞入

同日乞入 同日乞入

同日乞入 同日乞入

同日乞入 同日乞入

貞 陸

陸 貞

母

陸 貞

妻

貞 陸

享保二年九月十九日又日... 入... 貞 陸

病 陸 貞

享保九年四月十八日卒

貞 陸 貞

東

貞 陸

母 貞 陸

享保六年... 貞 陸 貞

切米之方後法... 高氣... 切米之法... 元文二年十一月... 陸奥方也

宝曆元年十一月... 少... 日... 切米之法...

女子

母 赤女

陸奥方也... 陸奥方也... 陸奥方也...

女子

母 赤女

宝曆元年十一月... 切米之法... 陸奥方也... 陸奥方也...

女子

母 赤女

陸奥方也... 陸奥方也... 陸奥方也...

光緒

毒

壬午九月十五日
壬午九月十五日
壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

壬午九月十五日

西曆十月十日
日申年八月十日

貞子

延享二年十月十日

貞子

西曆十年十月十日

女子
御宇

貞嘉

御宇

德母 王女

父母 貞子

妻 貞子

西曆十一年九月十日

延享二年八月十日

貞子

貞子

貞子

寛政十年六月廿三日
上院
白儀
白儀

貞次
貞次
貞次

母
母
母

女子
女子
女子

母
母
母

貞次
貞次
貞次

母
母
母

貞次
貞次
貞次

母
母
母

貞次
貞次
貞次

母
母
母

貞次
貞次
貞次

母
母
母

右通

之七...
請...
東...
未...

...
...
...

宣及...
...
...

は
お
あ
は

...
...

...
...

系譜

...

...

正和源氏
増産

先取古及中後後は正和源氏より先定三官製
没後臨幸年定規後正和源氏は正和源氏は正和源氏
如部部正和源氏は正和源氏は正和源氏は正和源氏
定規より正和源氏は正和源氏は正和源氏は正和源氏
正和源氏は正和源氏は正和源氏は正和源氏

正和源氏
正和源氏
正和源氏
正和源氏

年頃定の...
定次

母 少信者申 揚子...
書 少信者申

年月日...
宣文三...

廟廟

口代...
守...
延...

皇廟...

日九...

此...
賜...

同年...
九月...

...

天...
元...
...

定例

如左

十

母

定例

年月日

元文二年五月廿七日

号定例

定例

母 日後

十

定例

元文二年五月廿七日

定例

元文二年五月廿七日

定例

元文二年五月廿七日

定例

元文二年五月廿七日

定例

元文二年五月廿七日

定例

元文二年五月廿七日

定例

女子

上野女子学校

大正十一年八月

母 日産

女子

上野女子学校

大正十一年八月

定算

留名

母

上野女子学校

大正十一年八月

母

上野女子学校

大正十一年八月

上野女子学校

大正十一年八月

上野女子学校

大正十一年八月

上野女子学校

母

上野女子学校

大正十一年八月

上野女子学校

大正十一年八月

上野女子学校

大正十一年八月

母

上野女子学校

上受勅し

日辛八月廿四日賜書令三直賜以所及

日辛十月廿二日賜書一統

上受勅勅曰方今之世賜書日所の

日辛十月廿七日賜書

日辛丙午年二月廿七日賜書上受賜書

日辛丙午年八月廿七日賜書上受賜書

上受之書一曰九月丁令之及賜書日所

日辛丙午年八月廿七日賜書上受賜書

令沙及賜書日所

上受及元元也

八日令沙及賜書日所

日辛丙午年二月廿七日賜書上受賜書

日辛丙午年二月廿七日賜書

日辛丙午年五月廿七日賜書

上受賜書

上受賜書

日辛丙午年二月廿七日賜書

上受賜書

日辛丙午年二月廿七日賜書

也

母國

書上甲午年十月九日
少子
王明乙酉年十月廿二日
蓮花
日年二月廿八日
宣和十一年二月廿二日

少子

母日後

王明乙酉年十月廿二日

蓮花
宣和十一年二月廿二日

少子

母日後

宣和十一年二月廿二日
王明乙酉年十月廿八日

蓮花

宣和十一年

王明乙酉年

母

大久保忠房の女

妻

名

結佳と胎持の女

天明二年六月廿一日

寛政九年丁巳年六月廿一日

号春風流釋之殿

定有年故才力の長と結佳とと大久保

正有年故才力

其

母

名

母

名

大久保忠房の女

大久保忠房の女

名

結佳と胎持の女

定有年故才力

正有年故才力

大久保忠房の女

大久保忠房の女

名

結佳と胎持の女

定有年故才力

大久保忠房の女

は
在位左

系譜

皇極經世一
乙卯年春

皇極經世一
乙卯年春

皇極經世一
乙卯年春

信和原氏

如古本及

增卷

先和增卷之原氏始原親
御内侍長尾重忠之孫也
七重原氏之孫也
先定之孫也
信和增卷之原氏始原親
御内侍長尾重忠之孫也
七重原氏之孫也
先定之孫也

新
增
卷

信和
增卷

此和漢書中六子自氏禮記中引經考至
九代准胤及在氏先衛中世

增修

定親

道

貞經

德

光經

名

滿房

名

康光

名

康中

名

行

名

賴

榮勝 ヨシカツ

弘治三年尾形頼之合戦に属せしむ
討死す

正宅 ヨシノリ
池田重隆の子

母 少名
妻 少名
尾形也生

年月少名又市丸
尾形也生

天正四年八月廿一日

東照宮より
おのりあつた下
おのりあつた下
おのりあつた下

道行不世智歌
吉の村の内書
事合致物一統
金銀もも
平定丸
おのりあつた下
おのりあつた下

少判物以裁は乃心不務仕人知の行候
候に千歳手紙亦少知大判物也

白河平子居取地行村
二内万石居取地行村
左内村の内公三之九年
右下平屋行村の内公三
中平古行村の内公三
乙九年左居取地行村
九年右居取地行村
計外計居取地行村
四万石中三居取地行村
合共助の流令之助也

定次二
之下等 以下
所記物之

寛永十六己年九月十日、所記物之
流令助之流令也
少判物以裁は乃心不務仕人知の行候

石取 村居

母 少知
大判物以裁は乃心不務仕人知の行候

少知 忠信

母 少知
大判物以裁は乃心不務仕人知の行候

年月廿九日

大藏院様

廣有院様 行三行少の御道におき

年月廿九日 元祖 廣有院様御代に於て
少河河の御代に於て 御代に於て 御代に於て

御代に於て 御代に於て 御代に於て 御代に於て
御代に於て 御代に於て 御代に於て 御代に於て

御代に於て 御代に於て 御代に於て 御代に於て
御代に於て 御代に於て 御代に於て 御代に於て

正勝

九年 三月廿九日

中女 少元

実人 坊主 寺主 御代に於て

実母 公和 寺主 御代に於て

書 中村 寺主 御代に於て

御代に於て 御代に於て 御代に於て 御代に於て
御代に於て 御代に於て 御代に於て 御代に於て

上納金持御多事正則の侍
寛保二成三年と。公卿は
元々の三年二月十日宿勤を以て
少納金入りし由り上納金持御多事
同年七月十日宿勤を以て正則
に由りし
同日去年四月十日宿勤は正則の
正則宿勤を以て正則の御多事
御多事

女子 孝子 堀山三年正月
母 中納金持御多事

女子 孝子 堀山三年正月
母 七郎

正則 堀山三年正月

母 左内宿勤御多事
孝子 堀山三年正月
母 堀山三年正月

堀山三年七月十日宿勤

宝曆九年二月廿二日
下少彦彦命之命
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日

同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日
同日庚午二月廿二日

宮城久三子と記入
天明六年七月江戸浦田に在り
此所自居居る地自今宮城自居在
同年十二月自現行
實政六年二月江戸に在り
此名是也時自輝江に在り
津久と自居

女子

母 梅白尾中子
右の自居居る女子

某

母 梅白尾中子
右の自居居る女子

江戸に在り
家曆八月十八日江戸に在り
此名是也時自輝江に在り
津久と自居

子

右の自居居る女子

去母 江戸に在り
實政 右の自居居る女子
實文 右の自居居る女子
實母 右の自居居る女子

去文
坊屋三平兵衛子
去文
坊屋三平兵衛子
去文
坊屋三平兵衛子

江戶
明和乙戌年十月六日
去文
坊屋三平兵衛子

江戶院様
去文
坊屋三平兵衛子

同乙丑年七月朔日
去文
坊屋三平兵衛子

天明乙丑年七月
去文
坊屋三平兵衛子

去文
坊屋三平兵衛子

去文
坊屋三平兵衛子

去文
坊屋三平兵衛子

去文
坊屋三平兵衛子

字每 申
 古永申年十二月十日申刻在行橋
 五知寺のりし申文之字乃分西列人
 少者福業紀伊中 始より一より
 明多申年正月八日申刻紀伊中
 少者一より十日申刻申刻申刻申刻
 杉年古永申申刻申刻申刻申刻申刻

子 古永申

母 増丸正年古永申利子
 實子 古永申
 小者福業紀伊中
 古永申

天明六年年二月十日申刻在行橋
 申文之字乃分西列人
 少者福業紀伊中 始より一より
 明多申年正月八日申刻紀伊中
 少者一より十日申刻申刻申刻申刻
 杉年古永申申刻申刻申刻申刻申刻

子 古永申
 母 古永申
 古永申
 古永申

為九... 刊用書...

正愛

氏年

母

書

...

... 八月... 十月... 九月...

上... 八月... 十月... 九月...

女子

母

女子

母

女子

母

女子
母 月

女子
母 月

某

母 月

母

母 月

女子
母

母 月

先君... 十年... 去載...

七

...

...

...

...

...

...

江

江東

藤原

系譜

孝子二月晦日

三月廿五日

藤原氏

系譜書。堀河書

大正九年

三月廿五日

堀河書

尾張原氏

本苗其茂

蜂屋

先祖蜂屋無原以始原親後賴屋尾蜂屋長

尾張國尾蜂屋

古無原以新治九代以家系傳其先定
始曾城心孫若年定親中尾蜂屋心孫少
以心志城心以心定親以下始心家系傳

善政丸内其茂

赤坂丸内其茂

碧坂丸内其茂

清和天皇中皇子自元親至男孫至九代後
自山内氏遷居光衛門代增戶孫多戶皇孫
增戶多戶正室也瓜
山内氏

弟正

廿 增戶多戶

喜 增戶多戶

尾張國山内氏

橫河原

年号元永市

山内氏所領地也其地多山也
其地多山也其地多山也
其地多山也其地多山也

山内氏所領地也其地多山也

山内氏所領地也其地多山也

山内氏所領地也其地多山也

山内氏所領地也其地多山也

山内氏所領地也其地多山也

山内氏所領地也其地多山也

秀成

山内

母 子息の事

妻 御中

了國の心は

様

大御所様御事此但了妻の御事

古の月より

必事如先年

有徳院様御事

有徳院様御事

享保十六年十二月

作月

大御所様御事

新方書

享保

正重

母 子

妻

御事

了國の心は

控使様御覧下 万々切申度事有之
少御座候事申上 御座候事
左様御座候事申上 御座候事

月々之

定取之申上 申上 申上 申上 申上

見申上 申上 申上 申上 申上

申上 申上 申上 申上 申上

申上 申上 申上 申上 申上

申上 申上 申上 申上 申上

前者同様申上 申上

延宝七戌年七月申上 申上 申上 申上

申上 申上 申上 申上 申上

申上 申上 申上 申上 申上

申上 申上 申上 申上 申上

申上 申上 申上 申上 申上

正勝

八年 後

母 久

左様御座候事申上 申上 申上 申上 申上
申上 申上 申上 申上 申上

寛政十九年正月廿一日
正次書

女子 行々道中書

母七回

女子 行々道中書

母七回

女子 行々道中書

母七回

正利

市書

母七回

中村

寛政十九年正月廿一日

延享二年七月十日
正利
正和二年七月十日
正和二年七月十日
正和二年七月十日

正和二年七月十日

正和二年七月十日

正和二年七月十日

正和二年七月十日

正和二年七月十日

正和二年七月十日

正和二年七月十日
正和二年七月十日
正和二年七月十日
正和二年七月十日

有章院様

正和二年七月十日

正和二年七月十日

正和二年七月十日

女子
正和二年七月十日

母

久松幸右衛門

中ノ人高橋

吉岡

女子

母

七

孝女

中ノ人高橋

母

張中

正頁

孝女

孝女

中ノ人高橋

実父

中ノ人高橋

実母

中ノ人高橋

孝女

中ノ人高橋

定之文九己酉年八月廿五日
文利重子中ノ人高橋

贈一鏡以十年書寫新色書中

作日

同大正申年十二月朔日

作日

同大正申年十二月九日

作日

二條大垣乃書也世何知也

右

作日

同大正二年二月十日

作日

同大正二年十二月十日

作日

七

作日

作日

作日

作日

作日

作日

作日

作日

作日

享保七年三月二日傳書
同日十月九日訂書
高元代書
寺町之
号受得虎宗本

来

七年

早也

母

母 早也

女子

早也

母

早也

来

七年

早也

母

早也

正約

七年

早也

母

早也

母

早也

母

早也

母

早也

延享三乙丑年十月廿八日
悖法沈様

宝曆乙丑年十一月廿一日
悖法沈様
同乙丑年十一月廿一日
明和元甲申年十月廿八日
宝曆乙丑年八月二日
本記乙丑年八月二日
下お勤政申上
日九乙丑年十二月十七日
本記乙丑年八月二日

作身所々年
明和六乙丑年二月六日
本記乙丑年八月二日
仕回國遠光寺村
早 悖法沈様

女子 悖法沈様 正約書

母 久紅右衛門守定維女

女子

早也

母 七のり

女子

早也

母 七のり

女子

早也

母 七のり

元文元年四月八日
元文元年四月八日
元文元年四月八日
元文元年四月八日
元文元年四月八日

女子

早也

母 七のり

女子

早也

母 七のり

女子

母 苜蓿氏女

好甲府物者中實深衣之正具也婦人
深衣之病九は中實日物能統中衣
殷方書之也

女子

早也

母 古のり

来

彦龍

早也

母 古のり

女子

母 甲府物者中實深衣之正具也

好甲府物者中實深衣之正具也
深衣之病九は中實日物能統中衣
殷方書之也

女子

早也

以 仰 拜 奉 行 南 方 皇 帝 中 以 列 瓦
以 手 和 示 皇 后 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
日 年 之 一 月 甲 辰 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝

日 三 年 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝

皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝

古 皇 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
日 年 七 月 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝

日 年 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝
皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝 皇 帝

以作海
日于己未年十二月廿五日
御子也

東 万少 子也

母 得是少者御女

東 丙午年 子也

母 古月

正行 卷中

妻母 古月

室父 甲子 古月 年舟初八平次實次男

室母 古月氏女

妻 增也子也正直妻女

明和七年壬午年八月廿九日

出立書
古荒中子家新田子其流以
甲府勤書石口路子其流以
天明中元年十二月亦有勤書子
は其流以
同文己巳年六月七日形也
作其流以
元口路子其流以
寛文己巳年七月朔日其流以
其流以
其流以

養子

増茂流中子正行書

寛文己巳年七月朔日其流以

母

甲府勤書小栗正行書
其流以

寛文己巳年七月朔日其流以

右道流中子

言旨後 七箇月 洋彼在古 出所 丁三 日 控可

外式百後 中 任 科

寛政十己未年十二月 蜂屋 守 龜 成

夫壬二月 中 漢 中 守 龜 成

右 守 氏 守 龜 成 守 龜 成

系 譜

仁 守 龜 成

守 龜 成 守 龜 成 守 龜 成

少業入今... 九年九月... 杉木... 年... 作... 地... 至... 明... 芽... 國...

女子 孝子... 了... 女

女子 一... 女

母... 女

大... 年... 月... 日

白... 女

孝... 女

母... 女

大... 孝... 女

秀... 女

母... 女

上... 孝... 女

妻 子也 在也

母 兄也

女子 去書母相親也

母 兄也

女子 子也

母 兄也

如名於子年之書也

了復

在也 好也

母

妻

進書

定保之三年二月之無利也

少書也

少書也

去書母相親也

市村也

定保也

信信三行所又信成り其書後多居也二月十日

二月十日 外 信信也

信信也

信信也

信信也

信信也

信信也

信信也

信信也

此の... (Vertical text on the right margin)

女子

女子... (Main text block on the right page)

七条

始末

合

毎

七条... (Text block below '毎')

母

毒

毒... (Text block below '母')

了

母

了... (Text block below '母')

了... (Main text block on the left page)

女子
母
日
人

東
母
年
一

東
年

母
東
年
八月
廿
日
生
於
東
京

女子
母
日

右
由
此
可
知

高
三
百
後
女
國
年
行
年
國
志
新
年
禮
儀
在
家
禮
儀
中
也

宣
統
年
庚
申
年

增
修
大
系
五

は

物志

集

先聖書

書

権史

書

書

新書

書

清和原性

蜂屋氏

在重岐

經卷三十一代之後胤志遠臣等先定編會
將此卷強去帝之親名原國地少一處領夫
家名蜂屋氏下稱之改原國地信長原國地
康親遠親降改原國地信長原國地

宗之改

括號

智之改

丸百橋

希之改

括號

延享七年庚午十二月廿五日
自享之子〇二月廿九日
法名 心澤通江

正統

正統

正統

延享七年正月廿五日

延享七年正月廿五日

延享七年正月廿五日
延享七年正月廿五日
延享七年正月廿五日
延享七年正月廿五日

延享七年正月廿五日
延享七年正月廿五日
延享七年正月廿五日
延享七年正月廿五日

正統

延享七年正月廿五日

正統

延享七年正月廿五日

正統

延享七年正月廿五日

延享七年正月廿五日
延享七年正月廿五日
延享七年正月廿五日

正易

高之仰 市井分 幸甚表 後制整一

母

之正易
增心正易分正備

妻

之正易
正易正易分正安

江戸

喜保高年五月十八日海月山堂在母壽宮
下取

日中在母壽宮
修后右修

富曆十辰年
新母正易

正親

小川福公
後良尚

母
增心正易分正備

喜保高年五月十八日海月山堂在母壽宮
下取

正之

市井分

母

妻

孝行

正徳二年八月

御書

正徳二年八月

御書

正徳二年八月

正徳二年八月

正房

母

妻

孝行

正徳二年八月

御書

正徳二年八月

正徳二年八月

正徳二年八月

正徳二年八月

正徳二年八月

正徳二年八月

正徳二年八月

正徳二年八月

正子

三五子

母

与吉兼人
住京十石之宅

元母之正定延己午年九月廿九日死

女

母

与吉兼人
住京十石之宅

高曆己午年二月廿九日死

女

母

与吉兼人
住京十石之宅

元母之正明己午年正月廿九日死

女

母

与吉兼人
住京十石之宅

元正房兼女也

正明

左房

孝文

增心室助正房

孝文

小室正助正房
住京十石之宅

室母

与吉

孝

增心室助正房兼女

正明
明和二年十月八日
正明正房兼女也
住京十石之宅

右ノ通シテ在ル以上

高麗年名本國最古圖

詳見本館所蔵高麗年名本國最古圖

宣統元年三月

地産物
三年

は

水産物

海産

先程書

去年三月

桂田大和

海産

水産物。地産物

東
重副

新着在り大和
地産物

清和源姓

增元氏

如黄氏

經書云子西遠風子海子光之類
增元係古多定親至唐國增元之唐順
夫今出之增元下移子之定親下八傳
增元之唐國之親法親澤上亦屬同
信長之唐國之親法親澤上亦屬同

家紋

松紋

智紋

丸丸稿

壽紋

松稜松島

増心堂蔵の御書
増心堂蔵の御書

正次

母

書

至徳四年の御書
慶長七年の御書
東照公御書
想
加友伊織殿

元和二酉年四月
牛也船
小日向
寛文
七
杉原

正次

母

と

年平月二日之兄...
此心腸...正之喜...
[Seal]

正平

正平

母

毒

或列...
年平月...
定之...
[Seal]

定之...
延富七元...
少...
自...
成...
[Seal]

正能

正能

母

毒

元方御方
辨心室方御方

神列御方
近衛七己未年十二月
天和二年戌年三月
室水乙酉年六月
病氣少少
日年十月
澤為源玄平

家忠

竹平手入

母

辛巳月日
午年入

也子

在

母

正矩

坊

母

乙卯年
享保千乙卯年六月

正易

中ノ事由所及ノ中急浮新舊任歴

母

之方所ノ増加之書ノ正勝也

妻

多事ノ以依事ノ及ノ字

妻列ノ字ノ及ノ字

享保十一年七月十八日又長崎出書
ノ事ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字
日中ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字
此ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字
此ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字

宝曆十一年八月廿一日
高氣ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字
及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字

明和二年八月廿一日
安永二年八月廿一日
享保二年八月廿一日
松原ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字

松平ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字
門ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字
此ノ及ノ字ノ及ノ字ノ及ノ字

正親

小川

後集

母 孝行年長と心腹

孝行十八年己未年十二月十日 孝行母行
母行十八年己未年十二月十日 孝行母行

正之

五年 市川

母 孝行年長と心腹

書 孝行年長と心腹

孝行年長と心腹 孝行年長と心腹

武利 孝行年長と心腹
孝行年長と心腹 孝行年長と心腹
孝行年長と心腹 孝行年長と心腹

孝行年長と心腹 孝行年長と心腹
孝行年長と心腹 孝行年長と心腹
孝行年長と心腹 孝行年長と心腹

寺河松屋の墓

正房

三少

母

喜多川
作事長元正女

妻

正房

武利

室曆子二冬あり十二月喜方又正房

子親公曾起瓜

明和二年八月四日又正房

より全山喜房松平秋母

同元元七年十一月喜方

喜方

松平求道助松元

正房

同元元

少喜房

同元元

同元元

同元元

同元元

同元元

正方

三九年

東条夫人

母 市子夫人元正女

久母夫人元正女 延元元年九月廿五日誕生

女子

市子

母 市子夫人元正女

宝曆元年二月廿五日誕生

女子

母 市子

延元元年九月廿五日誕生

女子

母

市子

延元元年九月廿五日誕生

正明

大正

孝文

市子夫人元正女

孝文

市子夫人元正女

孝文

市子夫人元正女

孝文

市子夫人元正女

孝文

市子夫人元正女

市子夫人元正女

女子

後天

母

増左衛門守房養子

天明元年五月十九日其の薨也

守房

高直

母

増左衛門守房

武列守房の出生也

天明八年十二月二十日又正明保

少左衛門守房の出生也

天明九年十二月二十日守房

少左衛門守房の出生也

天明十年十二月二十日守房

少左衛門守房の出生也

天明十一年十二月二十日守房

少左衛門守房

天明十二年十二月二十日守房

少左衛門守房

天明十三年

天明十四年

五月廿七日庚午四月廿二日癸卯

女子

此係在江戶時所生也

小林氏之孫也

母 增子三郎之孫也

女子

母 家女

右之通事氏之孫也

今復來百石在國產生國產也

此係在江戶時所生也
係在江戶時所生也

貴國之己未年十二月 增子三郎之孫也

付
如法

系
鑄

未三月可
市信

石島氏
音信

右首
折尾半島

法和源氏

峰屋

源三任賴政長子河原仲平九代
源出及源仲國事業長子源國太郎
源三任賴政長子河原仲平九代
源出及源仲國事業長子源國太郎

源三任賴政

源出及源仲

源三任賴政

明曆元年八月廿六日

寛文六年七月廿六日

前者之件代、又右左、以若海式、
而件少事、所、以、其、入

常事、
所、代

自是元子、
但、
之、
日、

日、
大、

改紙

如左

改紙

喜每

喜又

喜每

喜

天和二年八月十日

文保元在年十一月廿七日癸卯

享保元大申年十一月

有信云

行代善文信云... 氏御所... 自及... 日... 治... 中...

延喜元年二月...

日... 面... 口...

善文... 行... 中...

宝曆元年二月...

博信云

所... 行... 中...

日... 行... 中...

日... 行... 中...

貞英

母

貞氏女

如...

...

...

頁部

如左様

書

母

手紙

書

肥田

昭和二年七月十日

昔年又思... 昭和二年七月十日

山崎

昭和二年七月十日... 山崎

貞知

其子

母

此口其子初學子

王明八申年三月其子行武臣國守也

宣和五年九月朔日也

行武臣也

其

其子

母

此口其子初學子

右道法親王

高成百俊

其子

法親王其子行門

宣和五年三月

法親王其子行門

